



日本の本来の勝ち筋

すべてをご破産にして明るくやり直す

式年遷宮



資料：Wikipedia



維新

焼け跡からの復活



圧倒的なスピードで追いつき一気に変わる

空海（弘法大師）



湯川秀樹



どんな外来概念でも
飲み込める言語と文化

- 漢字
- 仮名
- カタカナ
- アルファベット
- アラビア文字
- サンスクリット
- 、 、 、

若い人を信じ、託し、応援する

江戸開城



岩倉使節団



東通工 (現 Sony)



不揃いな木を組み、強いものを作る



「薬師寺の東塔に入ったら、ほんま、不揃いな木ばかりだ。それでも力強いんだな。あれも不揃いのよさや。外側はちゃんと整っているが、裏では不揃いが総持ちで支えているっていうのは、やはり最高のものだろうな。」

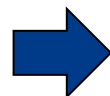
小川三夫

妄想しまくり、こだわり、器用さで具体化する

夢×技術×デザインによるゲーム・チェンジ

カメラ

レンジ
ファインダー



一眼レフ



Canon

クルマ

高速
安定



低公害・
高耐久・
コンパクト



大型
ハイパワー



時計

機械式
時計



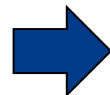
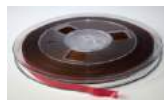
クォーツ時計

SEIKO

CITIZEN

AV

鉱石ラジオ
ブラウン管
リールテープ



トランジスタラジオ
トリニオン、
ビデオ (β、VHS)
カセット、CD



本田宗一郎氏と入交昭一郎氏





戦後の勝因に対する正しい理解が必要

よく言われている話

- 丁寧さ、これまでの技術が勝負
- 既存の延長のモノづくりを追求すれば勝てる
- 日本で生まれる課題を解決すれば繁栄できる
- 巨大企業が産業を生み出す
- シニアな経験者が腕まくりをすれば勝てる

本当に起こったこと

- どこよりも早いdeployと学び
・革新のスピードで勝負
- モノでは負けても技術革新でゲームを変える
- 国内に閉じず、世界的なスケールで何かをアップデートすることで富が生まれる
- 若い才能が挑戦するところから産業が生まれる

限界集落



YAHOO! ニュース
JAPAN



職員が突然いなくなった島の郵便局、離島ならではの事情

11/21(火) 21:02配信

朝日新聞
DIGITAL



一時閉鎖となった竹島簡易郵便局
(住民提供)

職員が突然いなくなり、週に2日しか営業できなくなった三島村・竹島の簡易郵便局。一人の職員に仕事が託され、サポートする補助員も確保が難しく、隣の島からの応援にも時間がかかるという離島が抱える「危うい事情」が浮かび上がってきた。

竹島は、三島村にある黒島や硫黄島など有人島の一つで、人口は約80人。

20年以内に無人化する見込みの九州のある集落

世界の至る所で起きている

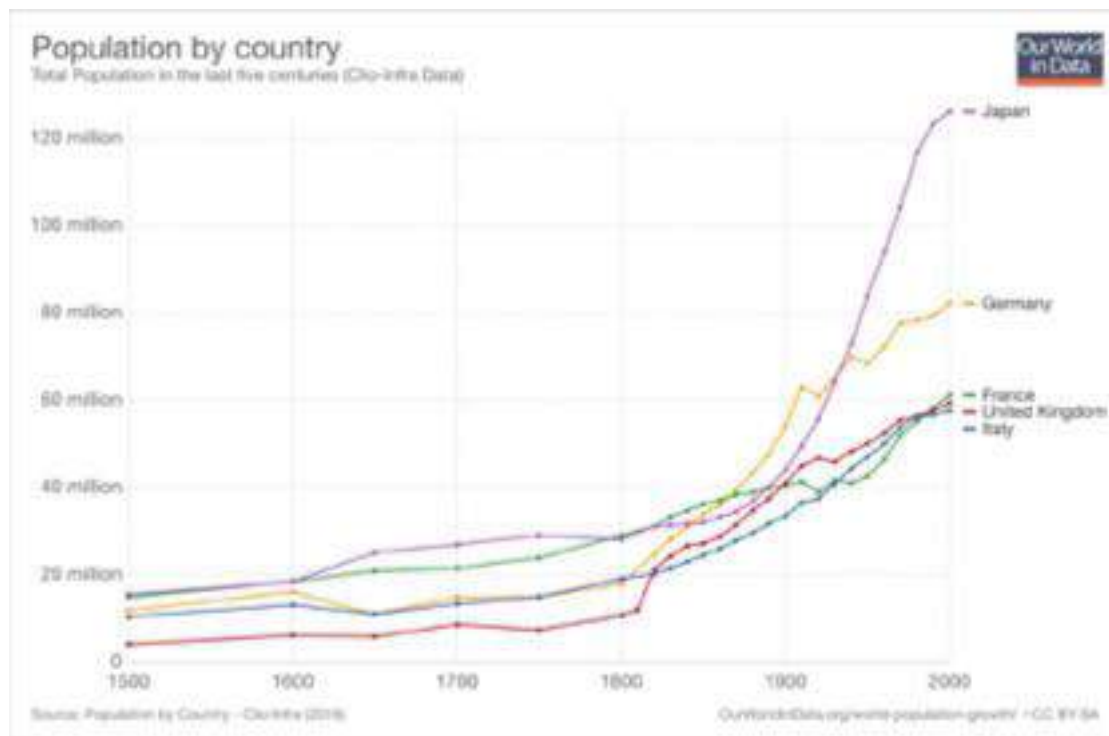


ある南仏の村

伊トスカーナ



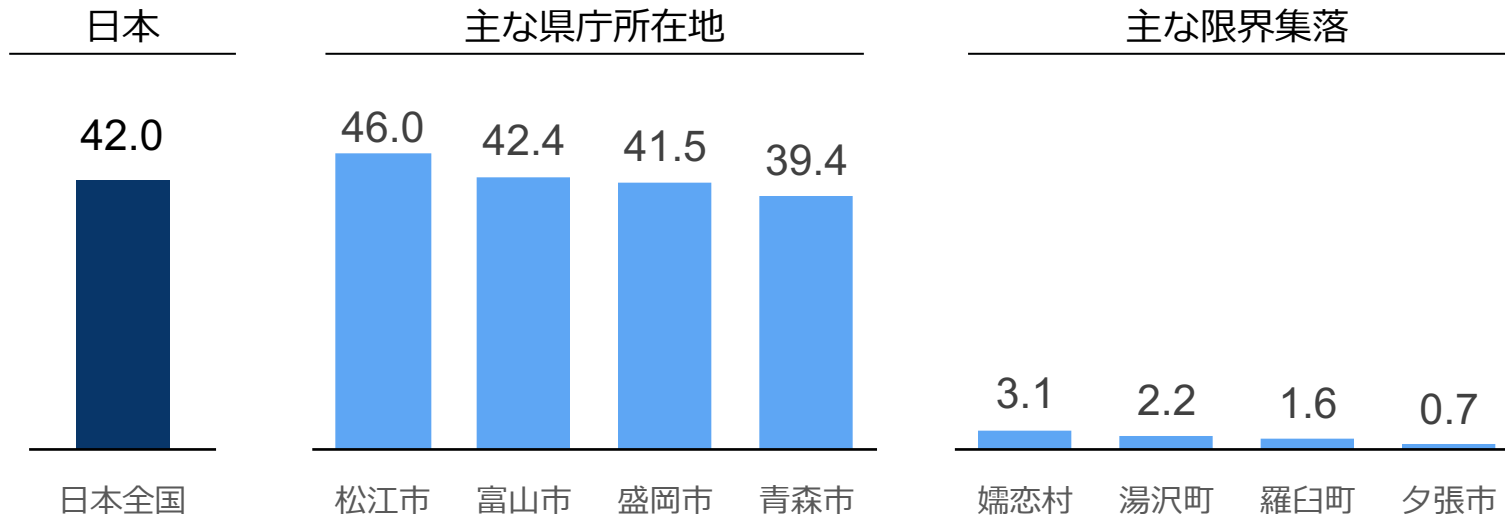
人口は遥かに増えてきたのに 人がいなくて破綻





子供を育てる最小密度を割ってしまっている

15歳未満の人口密度比較
(単位：人/km²)



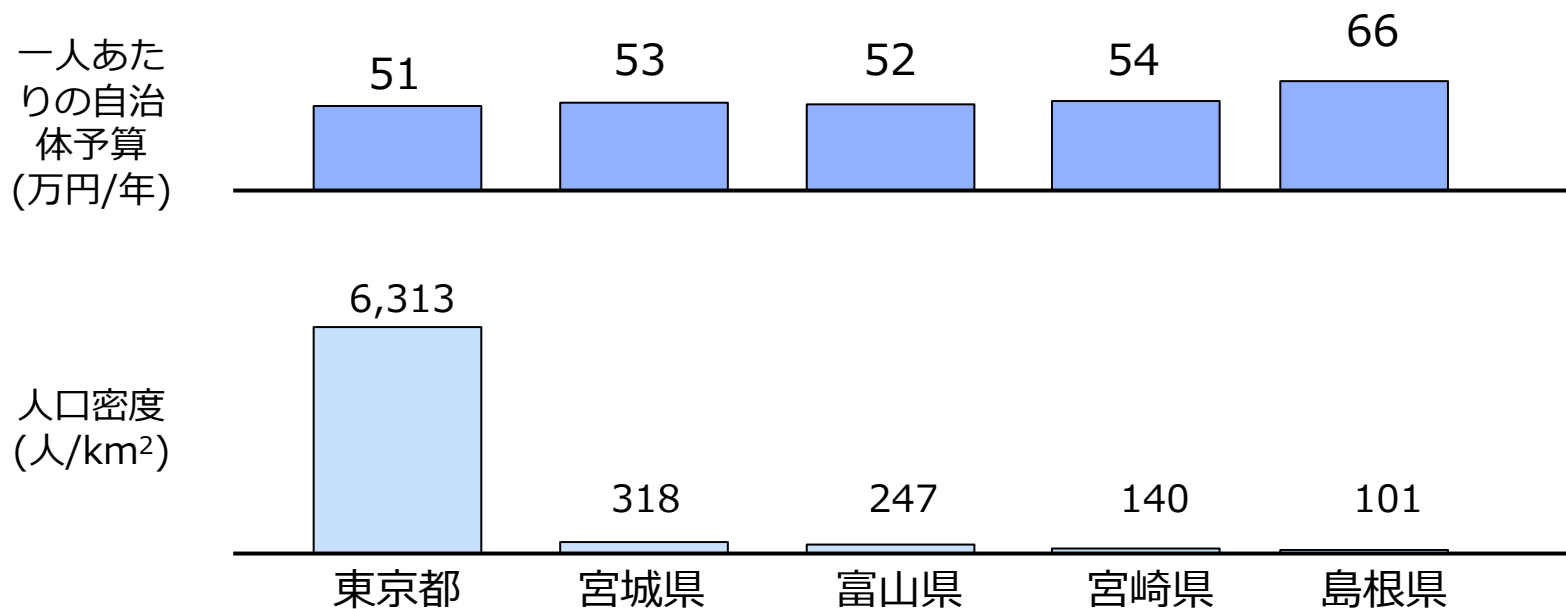
このままでは Blade Runner的な未来に

「風の谷」的未來 Valley of the wind





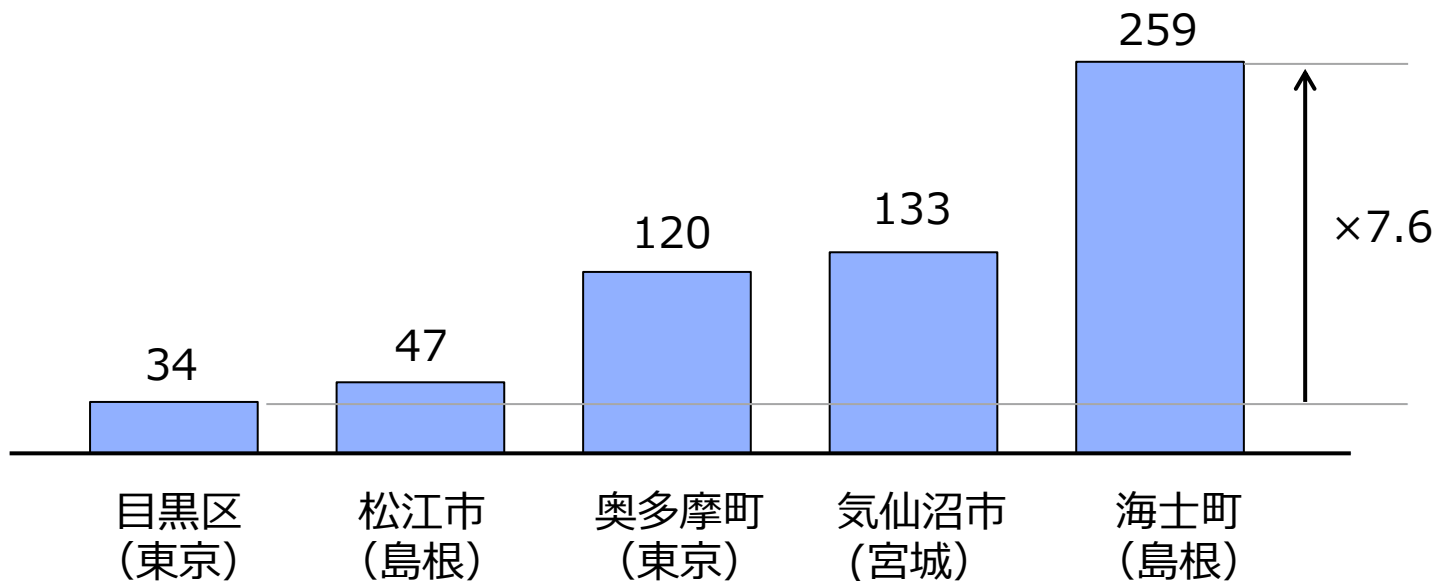
人口密度の差にかかわらず 県レベルのコストはそれほど違いはないが、 2018





基礎自治体の多くはbasic income級の 公費投入でようやく回っている状況

一人あたりの自治体予算 (一般会計: 万円/年; 2018)



人口密度
(人/km²)

18,963

573

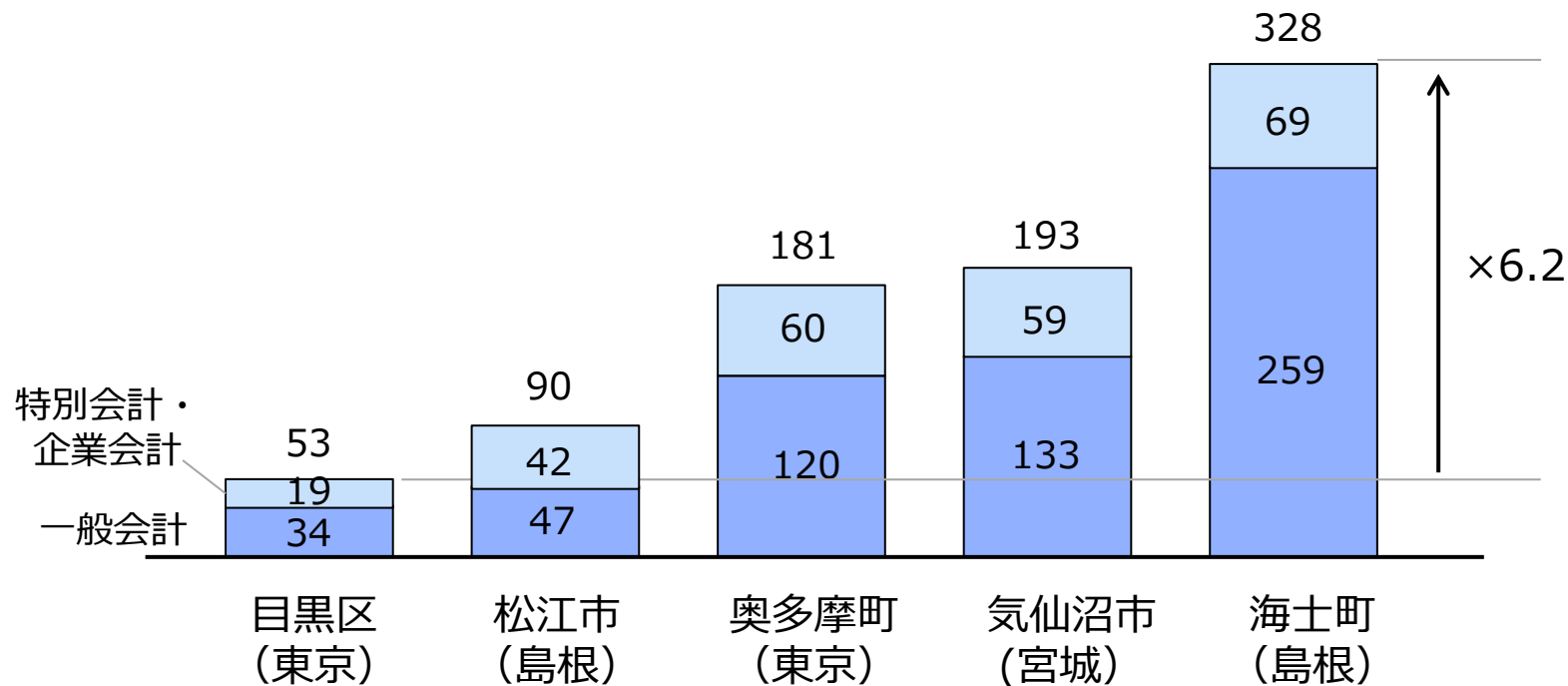
23

193

33

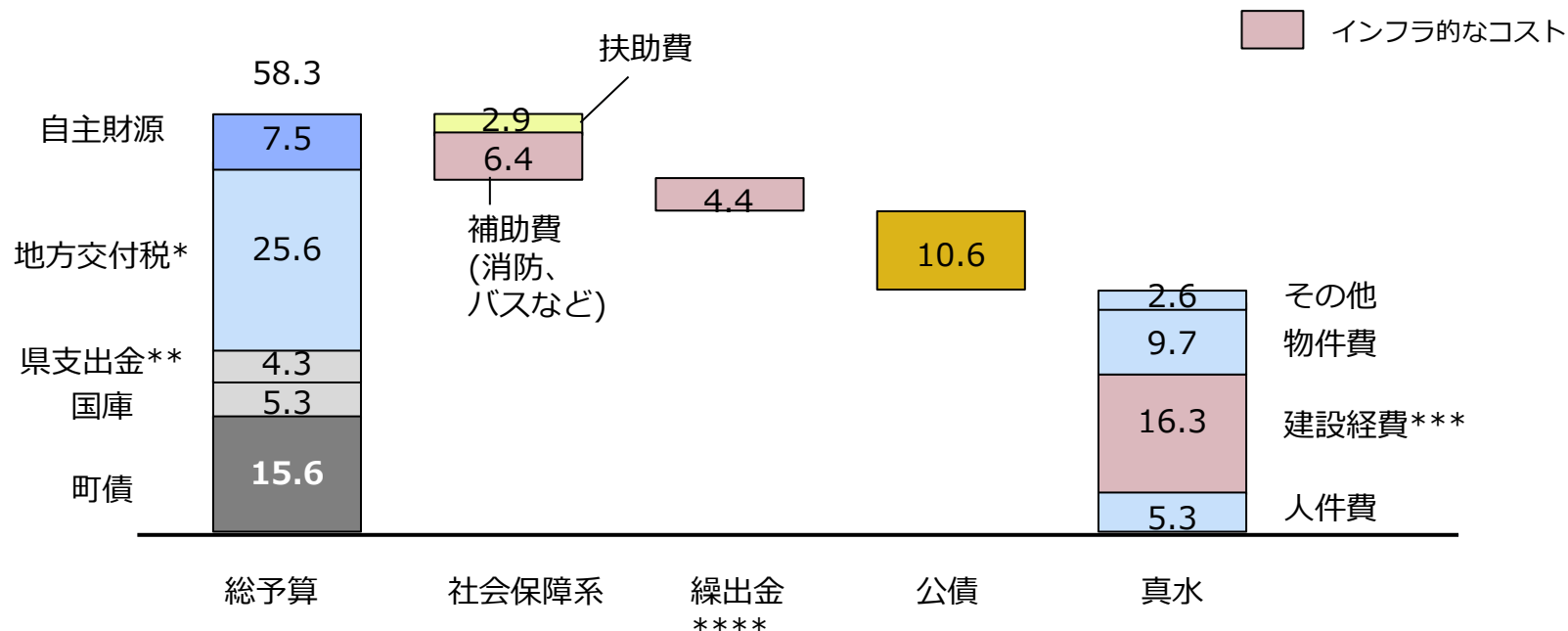
特別会計・企業会計まで含めると、

一人あたりの自治体予算（万円/年; 2018）



いまのやり方で地方をrunし続けるのは限界

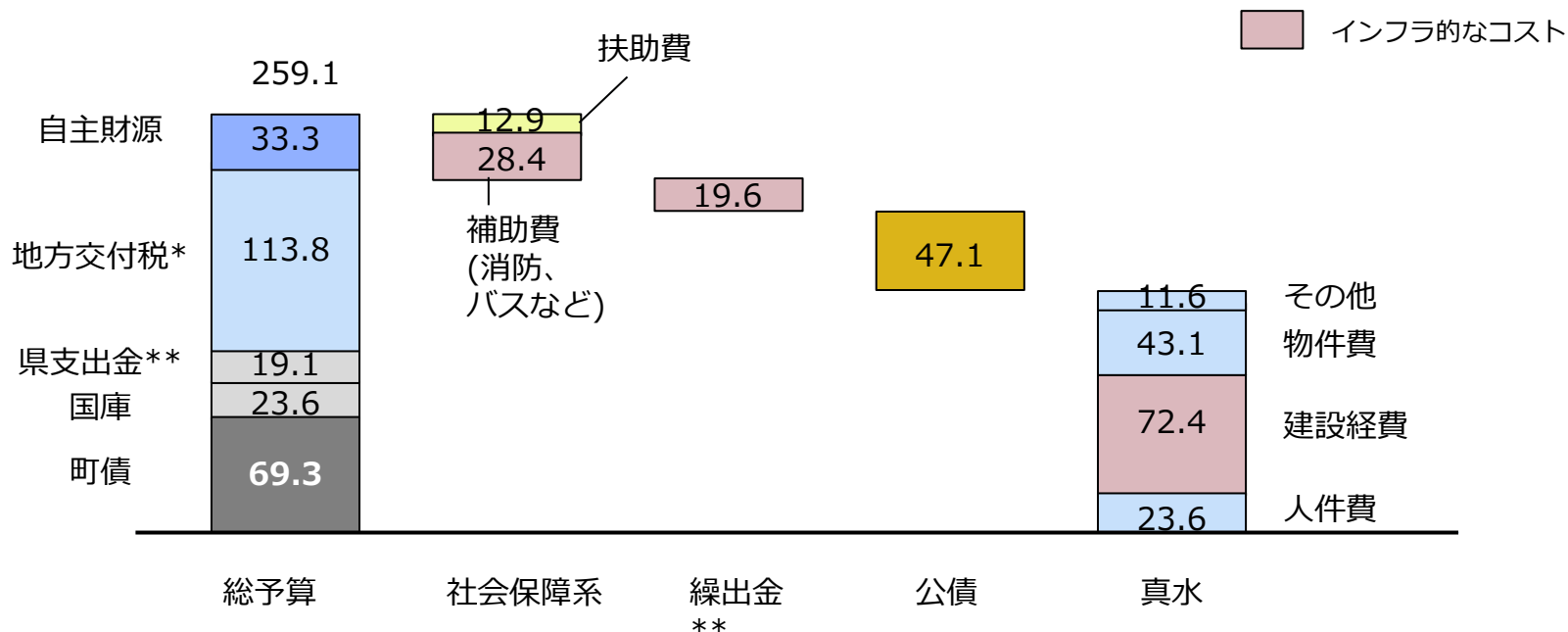
海士町のP/L (億円 2018、概算：一般会計予算のみ)



* 地方贈与税 0.2を含む、** その他 0.8を含む、*** 県事業負担 0.1、災害復興費 0.2を含む、**** 国保、診療所、上下水道など特別会計への負担金

オフグリッドな解を見出す必要がある

海士町の1人あたりP/L* 万円 2018 (概算：一般会計予算のみ)

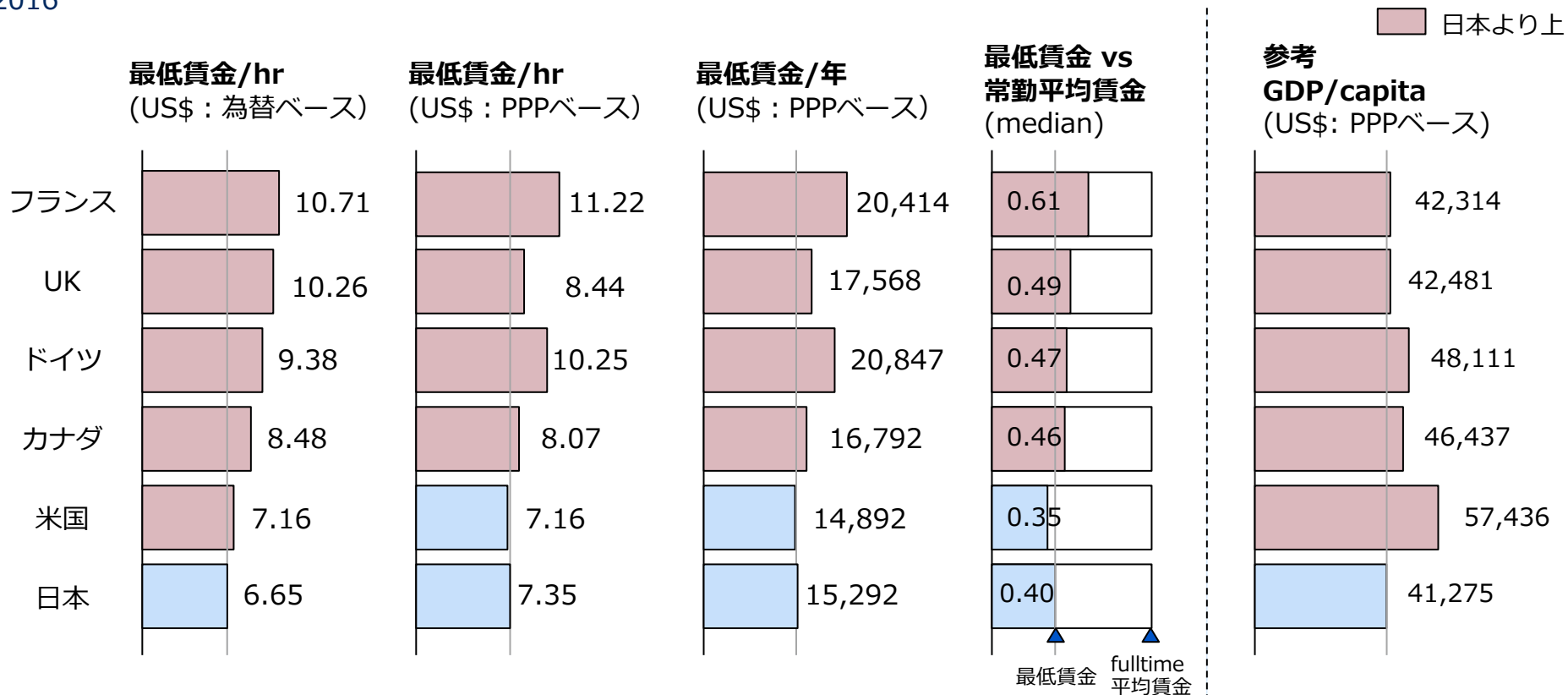


* 2018.4.1の推計人口 2250人 (Wikipedia) ** 国保、診療所、上下水道など特別会計への負担金



最低賃金がそもそも低い

2016



資料：OECD Real minimum wages - OECD.Stat (<https://stats.oecd.org/Index.aspx?DataSetCode=RMW>)

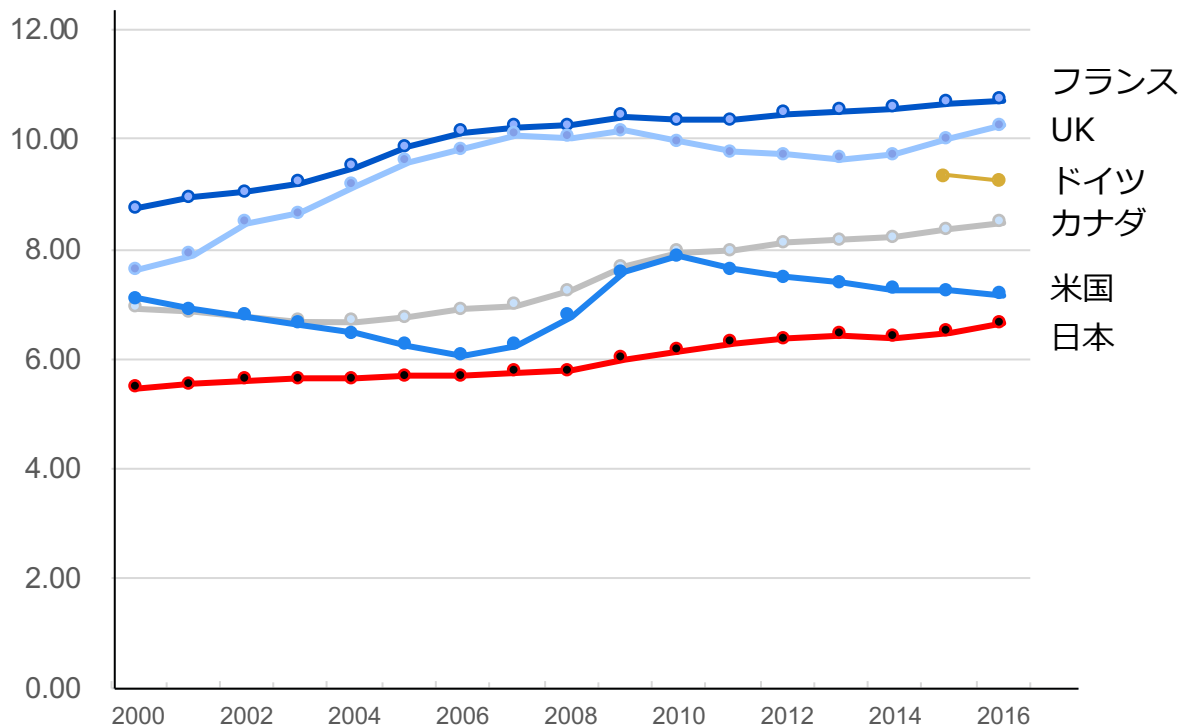
IMF World Economic Outlook Database, April 2017 (<http://www.imf.org/external/pubs/ft/weo/2017/01/weodata/weoselgr.aspx>)

David Atkinson氏の分析に示唆を受け、安宅和人分析



G7国の中で長らく最低

(最低賃金/hr; US\$: 為替ベース)





その他、初等・中等教育上の重要課題 1

現状

あるべき姿

- 機械として育成、書き取り、計算ドリルに過度のリソースを投下。制服と過度の校則の強制



- 作業ではなく意味、目的を主として教える（売上とコスト、三角関数と波ほか）。実用性の視点を強化
- 制服・校則の廃止（民法で十分）

- 意思、自分らしさ、憧れ、これなしに行ける高校・大学（教養の根本が欠落）



- ものを読む、体験する中でその人なりに感じることを最優先し、そこから生まれる気持ちを育てる（教養の基本）
- 様々な近代・現代的に偉大な人の話に触れさせる
- 自分がない人は高校以上に進学できない仕組みにする（特にリーダー層）

- 社会課題と技術革新の変化が早く、全くカリキュラム的に追いつかない



- 少なくとも20年ごとにスキル再生できる仕組みを導入
- 2-3年に一度は指導要領を見直し
- MOOCの活用による反転学習を導入
- 教員の再生の仕組みも導入

- 仕事や価値を生み出すことの本質を理解していないまま卒業



- 付加価値（この総和がGDP）、利益を生み出すことの大切さを教えると共に、どのようにそれが生み出され社会を動かしているのかを体感的に理解する



その他、初等・中等教育上の重要課題 2

現状

- ほぼ全くAI-readyな人材が生まみ出せていない（こういうことをやっている学校では基本的にサボっているとしか見なされない）



あるべき姿

- 線形代数、微積、統計数理は理文を問わず必修化
- 身の回りからデータを取り、それを使って何らかのパタンを見出す訓練を導入（サイエンス教育）
- 夢×技術×デザイン視点でものやサービスを作る教育を導入（技術家庭を組み替え、、データ/AI実技を導入）

- 十把一絡げな教育



- データドリブンかつ1to1的な教育を導入、、、100人100様に育成するしくみに
- MOOCなどを活用した自発的学習とinteractiveなやり取りを基本に。教壇からの一方向的な伝達を廃止

- まったく道具としての英語力が育てられていない



- 読む聞くではなく、書いて話せることを目的にする。
- 日常会話ではなく、言いたいことのソリッドな表現力を育成

- 中国語が一切教育されていない



- トラックとして早期に導入を検討

課題解決の前提であるサイエンスについての素養強化も必要

現状

- パタンを見出すことが科学であることがほとんどの人に理解されていない
- 大きさの桁によって分野が棲み分けていることも多くの人がかわかっていない
- 個々の領域の人間にとっての意味も伝わっていない
- 50年後の人類の持続維持可能性の深刻さも伝わっていない



大学の基礎教養までに カバーすべき広がり

- サイエンスの広がり と 棲み分け、関係
- 力学、電磁力学、波動（光、音）、量子力学
- 化学基礎、有機化学（生命科学、食品科学とセットに）
- 分子細胞生物学
- 生態学、、、熱、土壌といったサステイナビリティ課題もセットに